

一般質問から

平成 18 年第 4 回定例会の一般質問は、12 月 15 日、18 日、19 日の 3 日間にわたり、18 人の議員が 51 項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは、2 月下旬頃、更新予定のホームページをご覧ください。

用語 一般質問

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、執行機関から現在の状況やこれからの考えを聞くことです。



東京外環自動車道八潮 P A 計画について

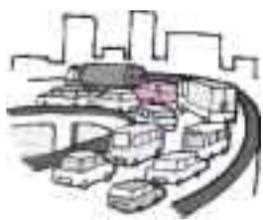
Q 独立行政法人日本高速道路保有債務返済機構と東

日本高速道路(株)による八潮 P A 工事の協定が結ばれた。工事予算約 247 億円・完成予定平成 28 年 3 月末。八潮市の北部開発はもとより市にとり大きな影響があると考えます。この件につき市の対応を伺う。

大久保龍雄

A 整備促進期成同盟会と八潮市は情報交換を行っており、調査、研究している。引き続き外環八潮複合型 P A 整備促進期成同盟会を支援し、地元地権者の八潮市八條地区北部まちづくり協議会に対しても、今後の動向により、支援を検討したい。

A 外環 P A の整備が位置づけられている北部地区は広域交流としての位置付けが、高まる。市としては北部拠点形成を進める上で大変意義があるものと考えます。現在、東日本高速道路(株)及び外環八潮複合型 P



公共サービス改革について

Q 民間事業者の創意と工夫が反映される業務を選定し

て、官民又は民間競争入札により、公共サービスの質の維持向上及び経費の削減を図る公共サービス改革法が施行されましたが、今後の取り組みについて

武之内清久

A この法律は、国の行政機関等又は地方公共団体が自ら実施する公共サービスに関し、民間事業者の創意工夫が期待される一体の業務を選定して官民競争入札又は民間競争入札に付することにより、公共サービスの質の維持向上、経費の削減を図る改革を進めることを目

的としています。本市では、地方分権時代にふさわしい無駄のない効率的な行政運営、団塊の世代職員の大規模退職後の行政組織内の人的資源の問題など、職員定員管理の観点からも有用な手段の一つと考え、今後は先進自治体での取り組み、顧客満足度の観点からのサービスの向上効果や業務改革効果、個人情報保護等の課題などを踏まえ、導入の可能性について調査研究してまいりたいと考えています。

公共下水道について

Q 経営の効率性を表わす使用料単価・汚水処理原価・

使用料回収率について、八潮市の状況と近隣自治体の状況を見て、八潮市の下水道事業は健全運営されているか、その考えは

柳澤 功一

A 使用料単価は、八潮市が 91・8 円、近隣 5 市 1 町の平均が 93・7 円です。汚水処理原価は、八潮市が 220・4 円、5 市 1 町の平均が 222・8 円です。使用料回収率は、41・65%、5 市 1 町の平均が 46・10%となっております。

使用料回収率は、経営状況を最も表わす指標と言われてお

り、本市が 5 市 1 町の平均に比較し、約 4・5% 低い数値ですが、その要因は、既成市街地整備を進める一方、南部地区内整備など、先行投資型の事業展開を図っていることから、直に使用料収入につながる投資効果が表れるまで相当の期間を要する状況です。しかしながら、本市の普及率は、県平均に比べ低い状況ですので、引き続き整備を推進するとともに、より一層の健全経営に努めて参ります。

最終処分場等について

Q 幸之宮町会に立ててあった

たたて看板がなくなりまして、解決したのか、また、解決したのであればその内容についてもお尋ねします。

豊田 吉雄

A 去る、9 月 11 日に最終処分場及び同周辺整備につきまして、地元町会長をはじめ役員の皆様と協議をしました。この協議の中で、町会の方々からのご意見などを伺い、4 点の内容につきまして双方が確認し、11 月 14 日付け文書にて回答をさせていただいたところであり、たて看板は、自主的に撤去していただいたところです。

また、内容については、3 号水路及び市道 1383 号線の道水路整備、市道 1293 号線の道路整備、3 5 号水路及び 5 号水路の流下能力等の検討、3 5 号水路の堰すなわち、角落としての管理の 4 点でございます。今後は、毎年、地元町会の皆様に事業内容のご説明等を行い、十分な理解をいただきながら、進めてまいりたいと考えております。

平成 19 年度の八潮市の政策形成について

Q 平成 19 年度の予算編成に

ついては、明年度の国の経済、財政運営等を考慮しながら判断しなければならぬが、歳入の見直しはどの位に立てているか。また、歳入状況を把握しながら、市民要望等を受けて執行部としては基本的な考えや判断をどこに置き予算編成するのか。特に今年 6 月に市民意識調査の結果を公表しましたが、これらを 19 年度の施策にどのよう

初山 繁雄

に反映させていくか。(イ)保健医療施設、体制の充実、(ロ)排水路、下水道の早期整備、(ハ)高齢者福祉対策について、(ニ)市民生活の安全を守

りたいと考えております。

A 予算規模については、定率減税の廃止等により市税が増となるため今年度位の収入が見込めます。行政施策の基本である都市基盤の整備、少子高齢化社会に対応した地域福祉施策の推進、災害、安全、安心のまちづくり、産業振興を進めるため、市民ニーズを充分把握し、緊急かつ重要な課題解決を図るべく、できる限り対応してまいりたいと考えております。